



郡山市観光戦略ビジョン (2019年度～2025年度)

概要版

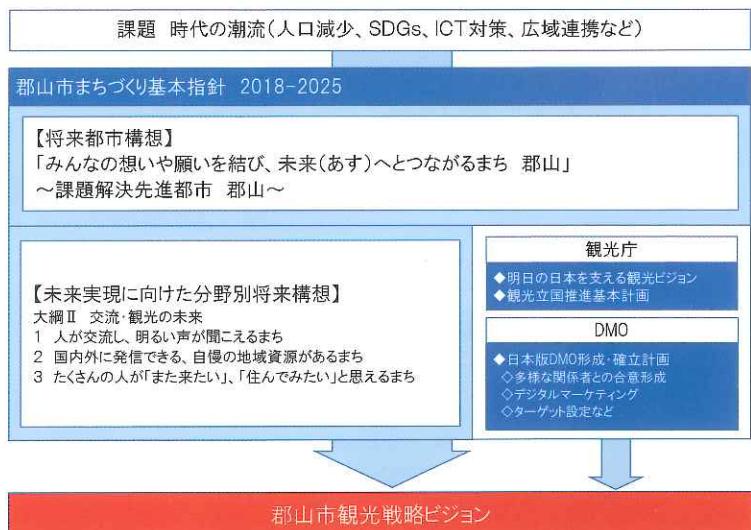
1 策定の目的

本ビジョンは、現在の観光を取り巻く状況や、国の「観光先進国」に向けた取り組みに対応すると共に、時代の要請に応じた観光振興が急務となっていることから、これらの課題を解決し、本市の観光産業が更に発展していくために、本市の総合的な観光戦略の方向性を示すものです。

2 ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、本市の最上位計画となる「郡山市まちづくり基本指針」の観光関連分野における方針を示すものであり、本市の観光推進の方向性や実施に係る戦略的な視点を示すとともに、観光関連事業者、観光関連団体をはじめ、DMOとの連携により観光施策を推進するための方針となるものです。

計画期間は、2019年度（平成31年度）～2025年度までの7年間とし、「郡山市まちづくり基本指針」2018～2025）の計画期間の終期に合わせた期間として設定するものです。



3 本市の観光の現状

①観光客入込数

東日本大震災の影響で、半減したが、全国的な復興支援の機運、大型イベントの開催もあり、震災前の約9割超まで回復（H22-H30比92.4%）



②郡山市観光客動態実態調査

ビッグデータを活用した観光客動態調査による本市誘客に係る強み、弱みを分析

- ◇4月～9月の夏期間が多く、10月～3月の冬期間は少ない傾向がある。
- ◇来訪者の男女比は、特に県外に限定した場合、男性が6割を超える。
- ◇県外來訪者は、男性の30歳から49歳が多い傾向がある。
- ◇宮城県、東京都等の首都圏からの来訪者・宿泊者が多い。

③市内外の観光イメージ分析と課題

市民、市外の方それぞれに対して郡山市の観光イメージに関するアンケートを実施し、比較分析を行うことで、観光施策に関連する課題を抽出

- ◇郡山市の観光地としてのイメージは、「アクセスが便利」のイメージが高い。
- ◇「自然が美しい」「地酒が美味しい」「お土産が豊富」のイメージは、市民は低いが、県外は高い傾向にあり、特に東京都民の「自然が美しい」とのイメージは約5割に達する。
- ◇市民がオススメする「紅枝垂れ桜」「開成山公園」といった桜のスポットや「銘菓」は、県外の方の関心も高い。

4 現状から見える本市の強みと課題

本市の観光を取り巻く状況や観光に関わる現状と動向を踏まえ、次のとおり強みと課題を整理します。

- ①インバウンド誘客に向けた取り組みの推進
- ②MICE目的の来訪者の滞在時間拡大に向けた取り組みの推進
- ③ターゲットに合わせたプロモーションの展開
- ④シビックプライドと観光に対する機運の醸成
- ⑤原子力災害による風評の払拭

5 予見される課題

「本市の観光の現状」における観光データ分析、アンケート結果、前計画の評価とともに、まちづくり基本指針策定時の市民会議や本ビジョンを策定するに当たり、観光団体や事業者などからいただいたご意見等を踏まえ、本市観光産業に予見される課題を以下の5つの視点で整理します。

- ①人口減少社会
- ②地球温暖化に伴う影響等
- ③デジタルネイティブの活躍
- ④産業、世代、地域のボーダレス化
- ⑤国際化に伴う多文化共生



6 本市観光の目指すもの（ビジョン） 4つの目標

目標Ⅰ 観光基盤整備

～すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できる安全で安心な観光基盤の整備～

本市には、子どもから高齢者、外国人、障がいのある方など様々な方が来訪します。また、レジャー、温泉などの観光以外に、仕事や帰省、親戚や友人への訪問、市外の目的地までの経由地として立ち寄られる方など、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できる観光基盤の整備を推進し、「また来たい」「住んでみたい」と思えるまちを目指します。



◆ I-1 地域の稼ぐ力を引き出すDMOの形成、推進

○郡山版DMO推進 ○観光客の特性を捉えるマーケティングの実施

◆ I-2 生活・観光共生型の観光インフラ整備の充実

○誰もが安心して買い物や観光ができる観光環境の整備 ○観光地へのアクセス環境の充実

◆ I-3 ボーダレスな観光案内機能の充実

○来訪者目線のわかりやすい案内表示板の充実 ○観光案内の広域化及び情報発信

◆ I-4 魅力ある地域づくりのためのおもてなし人材育成

○インバウンド観光おもてなし人材の育成 ○我がまち情報発信セールスマンの育成

◆ I-5 多文化共生を意識したインバウンド受入体制の充実

○観光地における案内板等の多言語化、ピクトグラム化の推進



【JNTO認定外国人観光案内所】

目標Ⅱ 観光資源開発

～インバウンド視点により地域資源の魅力を発掘し最大限に磨き上げた観光コンテンツの充実～

SNSやスマートフォンの普及、外国人観光客の増加を背景に、これまで



想定されなかった地域の資源が観光資源になる可能性もあり、新たな視点による観光資源開発を進め、国内外に発信できる自慢の地域資源を生み出すことを目指します。

◆ II-1 新たな視点による既存資源の観光利用への推進

○文化財の観光資源としてのプラスアップ・活用 ○景観の優れた観光資産の保全・活用による魅力向上

◆ II-2 インバウンド視点での地域の魅力を活かした観光資源の開発

○農業体験や農家民宿等による地域交流の促進 ○研究機関など特色ある産業を活かした産業観光の推進

◆ II-3 市民と来訪者が共生できる魅力あふれるイベント等の開催

○イベント開催の誘致や地域主体の交流イベントの開催と支援 ○外国人観光客が参加できるイベント推進

◆ II-4 地域間ボーダレスの観光コースの造成

○こおりやま広域圏の観光資源を活かした観光コースの造成

◆ II-5 アプリケーションなど観光ツールの開発

○観光ガイドブック・ウェブサイト等の改良 ○観光ツールの検討



【クラフトウイスキー見学ツアー】

目標Ⅲ 観光誘客・MICE 誘致

～多様な魅力を分かりやすく伝えるため ICT を活用したあらゆる手段による情報発信と誘客促進～

本市は、コンベンション施設、宿泊施設、スポーツ施設が充実しており、こおりやま広域圏には、三春滝桜や磐梯山、猪苗代湖などの国内屈指の観光素材があることから、国内外に向けて、この多様な魅力を活かした観光誘客・MICE 誘致を進め、より多くの方が来訪し、人が交流し、明るい声が聞こえるまちを目指します。



◆Ⅲ-1 デジタルネイティブの活躍による ICT を活用した国内外への情報発信

○SNS 等を活用した多言語による情報の発信

○マーケティングに基づくターゲットに合わせた情報の発信



郡山市観光PR活動2017～春爛漫～
YouTube PR 動画配信

◆Ⅲ-2 マーケティングに基づく観光誘客の推進

【You Tube PR 動画配信】

○国内外のエージェントセールスや観光・物産キャンペーンの推進 OTV や CM のロケーション撮影支援

◆Ⅲ-3 セーフコミュニティ活動による安全・安心な取り組みを活かした MICE 誘致の促進

○会議・コンベンション・大会等誘致 ○アフターコンベンションの推進・ユニークベニューの開発

◆Ⅲ-4 スポーツコンベンションの誘致

○スポーツコンベンション、スポーツ合宿の誘致 ○スポーツ温泉コンベンションの誘致

目標Ⅳ 物産振興

～世代を超えた農商工融合による、郡山を味わい、楽しむことができる優れた物産品等の開発や販売の促進～



本市の四季や歴史、風土を感じ、味わってもらえる地酒、銘菓、郡山ブランド野菜、郡山産ブランド米「ASAKAMAI 887」さらには民工芸品などの特産品を国内外に広く伝え郡山を知りいただくことや、新たに観光の顔として市民がお勧めする鯉料理のように郡山に来て味わっていただく地場料理の開発などを世代や業種を超え、市民、事業者とともに推進します。

◆Ⅳ-1 人口減少、温暖化等社会課題に対応した物産振興

○あらゆる機会を通じた特産品の販売と魅力の発信

○郡山の特産品のブランド力の強化 ○持続可能な物産振興のための調査研究

◆Ⅳ-2 食の差別化と高付加価値化の推進

○農商工連携・6次産業化による地域資源の高付加価値化

○地元産の多様なアルコール飲料によるマリアージュの提案



◆Ⅳ-3 国際化を意識した郡山グルメの開発推進

○ムスリム等の多様な食文化への対応に向けた情報共有

○多様な食文化への対応する本市の特産品を活かした郡山グルメの開発

【地酒と料理のマリアージュ】

7 ビジョンの実現に向けた基本方針

4つの「目指すべき姿」の実現・推進にあたっては、本市が進める課題解決のための視点を踏まえ、関係機関・団体等及び地域間・広域の連携の推進体制により、戦略的な取り組みを進めることで「課題解決型のツーリズムイノベーション」の実現を目指します。

①戦略的な課題解決に向けた各種視点

- ◆インバウンド
- ◆ICT活用
- ◆こおりやま広域圏
- ◆SDGs
- ◆セーフコミュニティ
- ◆ユニバーサルデザイン
- ◆産学官連携
- ◆プラットフォーム、コンテンツ、アプリケーション



【SDGs：世界を変えるための17の目標】

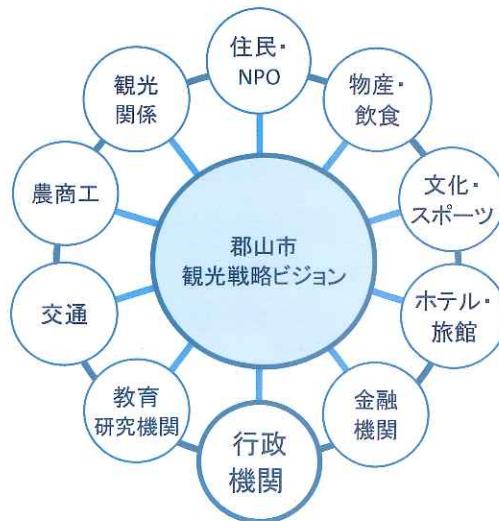


【観光戦略ビジョンの構造イメージ】

8 関係機関団体等との連携による推進体制

目標の実現・推進にあたっては、行政、観光関係事業者・団体、農商工事業者・団体、住民・NPO団体、飲食物産業者・団体、教育・研究機関、金融機関等が相互に連携を図りながら役割分担をもって取り組むことが必要となります。

また、地域に密着した観光振興を図るためDMOの取り組みに対する効果的な連携が求められます。



【地域一体となった観光振興 連携イメージ】

①役割分担一覧

実施者 分類	觀光事業者	市民	物産	宿泊	文化	農商工	教育	金融機関	行政機関
	・ N ・ ○	・ N P ・ ○	・ 飲 食 業	・ 交 通	・ ス ポ ー ツ	・ 業	・ 研 究 機 関		
目標 I 観光基盤整備									
I-1 地域の稼ぐ力を引き出すDMOの形成、推進	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
I-2 生活・観光共生型の観光インフラ整備の充実	□	□	□	◎	□	□	□	□	◎
I-3 ボーダレスな観光案内機能の充実	◎	□	□	□	□	□	□	□	◎
I-4 魅力ある地域づくりのためのおもてなし人材育成	◎	◎	◎	◎	□	△	△	△	□
I-5 多文化共生を意識したインバウンド受入体制の充実	□	△	◎	◎	△	□	□	□	◎
目標 II 観光資源開発									
II-1 新たな視点による既存資源の観光利用への推進	◎	△	□	□	◎	◎	□	△	◎
II-2 インバウンド視点での地域の魅力を活かした観光資源の開発	◎	□	□	□	◎	◎	◎	△	◎
II-3 市民と来訪者が共生できる魅力あふれるイベントの開催	◎	◎	◎	□	◎	◎	□	□	□
II-4 地域間ボーダレスの観光コースの造成	◎	□	□	◎	□	△	△	△	◎
II-5 アプリケーションなど観光ツールの開発	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□	△	◎
目標 III 観光誘客・MICE 誘致									
III-1 デジタルネイティブの活躍によるICTを活用した国内外への情報発信	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□	△	◎
III-2 マーケティングに基づく観光誘客の推進	◎	□	◎	◎	□	◎	△	△	◎
III-3 セーフコミュニティ活動による安全・安心な取り組みを活かしたMICE誘致の促進	◎	△	◎	◎	□	□	□	△	◎
III-4 スポーツコンベンションの誘致	◎	△	◎	◎	◎	△	□	△	□
目標 IV 物産振興									
IV-1 人口減少、温暖化等社会課題に対応した物産振興	□	△	◎	△	△	□	△	△	◎
IV-2 食の差別化と高付加価値化の推進	□	□	◎	△	△	◎	△	△	□
IV-3 国際化を意識した郡山グルメの開発推進	□	□	◎	△	△	◎	△	△	□

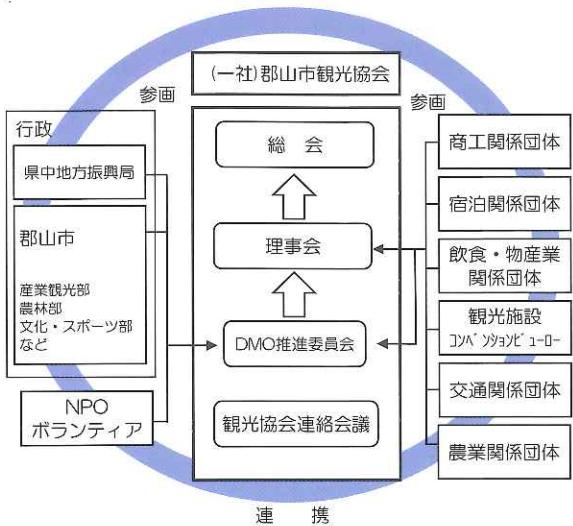
凡例 ◎…主体的となり推進する □…主体と協力し推進する △…事業参加等により協力する

②行政の役割

行政は次のような役割が求められます。

- ◆観光に関する長期的なビジョンの提示
- ◆市民や観光関連団体等との連絡調整
- ◆観光に関する情報の収集・分析
- ◆広域的なインバウンド施策の推進
- ◆街並み整備等の社会資本整備
- ◆景観、環境の保全
- ◆交通環境の充実

また、各主体が自主的に取り組む観光振興事業に対してDMOによる観光地域づくりに併せた支援を行います。



【参考：(一社)郡山市観光協会のDMO実施体制図】

③地域間と広域の連携

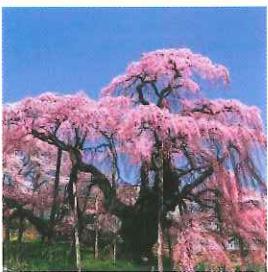
現在、郡山市では、郡山市及び関係 14 市町村で構成するこおりやま広域圏の形成により、「広め合う、高め合う、助け合う」関係を構築し、持続可能な圏域形成を目指しています。

関係 14 市町村（須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町）及び広域事業連携市町村（二本松市）

観光においても、地域の特色ある観光資源について、広域的な視点によって観光資源の磨き上げや、観光ルートの開発が促進され、観光資源の価値を高め合い、より魅力ある観光地として情報を発信し合うことで観光産業の発展による地域経済活性化を図ります。

主な観光資源のジャンル

イベント（スポーツイベント・文化イベント等）、温泉、スポーツ・レクリエーション、グルメ、コンベンション施設、サブカルチャー、映画等のロケ地、アニメ等の舞台、産業施設、自然（湖・山・花・紅葉等）、ショッピング（ショッピングモール等）、体験・見学、伝統（祭、花火大会等）、ボランティアガイド、街歩き（商店街・イルミネーション等）、ミュージアム、歴史・文化（神社仏閣・文化財等）



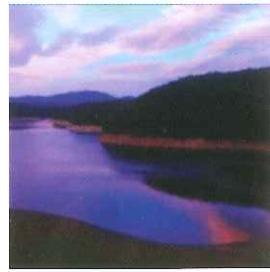
【三春滝桜】



【流鏑馬】



【あぶくま洞】



【羽鳥湖】

編集発行：郡山市観光課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23-7
TEL : 024-924-2621 FAX : 024-925-4225
ウェブサイト <https://www.city.koriyama.lg.jp>
E-mail kankou@city.koriyama.lg.jp



紙へリサイクル可

この印刷物は、環境にやさしいFSC®認証紙と植物性インキを使用しています。